

令和4年度 第2回山北町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和5年2月15日(水)
開会：10時30分 閉会：11時35分
- 2 開催場所 山北町役場 401会議室
- 3 出席者(敬称略)
 - (1) 委員 6名
山北町長 湯川 裕司
山北町教育委員会教育長 石田 浩二
山北町教育委員会教育長職務代理者 野地 泰次
山北町教育委員会委員 小菅 正子
山北町教育委員会委員 今村 敏雄
山北町教育委員会委員 佐藤 直美
 - (2) 事務局 2名
参事兼企画総務課長 佐藤 孝行
企画総務課主幹 平野 泰輔
 - (3) オブザーバー 2名
こども教育課長 高橋 英治
生涯学習課長 畠山 佐和子
- 4 傍聴者 0名
- 5 会議概要
 - 1 開会 参事兼企画総務課長
 - 2 町長あいさつ 湯川町長
 - 3 教育長あいさつ 石田教育長

4 議 題

(1) 令和5年度当初予算案の概要について

湯川町長

それでは、議題（1）令和5年度当初予算案の概要の説明に入る前に、令和5年度の教育施策に対する私の考えについて述べさせていただきます。

本町においても少子化に歯止めがかからない中で、これまでに町立小中学校の統合を進めてきたわけであるが、今後においても0歳から15歳までの一貫教育・保育を進める中で、給食費の一部補助や小児医療費助成の高校生までの拡充などを行っていききたい。また、山北町を住んで良かった町として、広く情報発信しながら、移住してくる子育て世代などに対しても手厚い支援をしていきたいと考えている。

それでは、事務局から資料の説明をお願いしたい。

事務局

～ 資料により説明 ～

湯川町長

ただいまの説明についてご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。

今村委員

英語検定料補助金の対象者拡大について、町の考えを聞かせていただきたい。

高橋課長

この補助制度については、中学生を対象として今年度から開始した。現在、小学生高学年を対象とすることについて、検討しているところである。

石田教育長

英語に限らず様々な授業について、小学校と中学校とで連携した一貫教育を進めていく必要があるため、今後は補助の対象を小学生まで拡大していく必要があると考える。

湯川町長

県では、今後、積極的にオンライン授業を進めていく考えのようであるが、英語教育などについては、オンラインによる授業が多くなっていくのではないかと思う。そうしたことなども見極めながら、山北の子どもに合った教育環境を整備していきたい。

野地委員

学校施設維持管理運営事業の川村小学校屋根改修工事について、ご説明いただきたい。

高橋課長

川村小学校の屋根改修工事については、令和5年度に基本設計、令和6年度に実施設計、工事着手する予定である。先生方の意見も反映させていきたい。

石田教育長 川村小学校については、屋根の改修工事だけでなく、例えば下駄箱なども使
いにくくなっているのでは、そうしたものも含めて改修していきたい。

湯川町長 この前の子ども議会でも川村小学校のプールの改修についての提案があつた
が、学校施設の直せるところはしっかりと改修して、教育環境の整備をしてい
きたい。

佐藤委員 山北町では給食費の一部補助を行っているが、給食費を無料化する自治体が
増えていると聞いている。今後、町では給食費を無料化する考えはあるのか。

湯川町長 財政的に可能であれば、無料化の方向で考えていきたいが、やはり補助を継
続していくことを考えると、中々難しいと思う。

小菅委員 部活動の地域移行に係る来年度予算についてご説明いただきたい。

高橋課長 部活動の地域移行については、令和5年度に関係者による検討会を立ち上げ
て、課題等への対応や実施方法などについて検討し、令和6年度以降に地域へ
の移行を進めていきたい。

石田教育長 部活動の地域移行については、指導者の確保、保護者の費用負担など様々な
課題があるので、検討会の中で、時間をかけてそれらの課題をしっかりと整理
して進めていく必要がある。来年度については、検討会の委員報酬などを予算
計上している。

佐藤委員 町内の子どもたちでも行ったことの無い場所がたくさんあると思うので、山
北町の良さを感じ、そこに行きたくなるようなプロモーションビデオを作成し
たらどうか。

湯川町長 そうした映像の作成については、ドローンの活用が不可欠であるとする。
来年度のお峰入りの記念公演については、映像として残すことを考えているの
で、ご提案の件については、映像の専門家の方とも相談しながら検討してい
きたい。

野地委員 旧山北体育館代替施設整備についてご説明いただきたい。

畠山課長 旧山北体育館代替施設については、令和4年10月から基本設計に入ってい
るが、令和5年度については、実施設計を行ってほしい。この施設は、武道

や軽スポーツに利用することができ、地域コミュニティが図れる交流施設、さらには災害時の防災拠点となることをコンセプトとしている。建物は、木造平屋建て延べ床面積500㎡以下で、50%以上の県産材を使用する予定であり、林野庁の国庫補助を活用して実施する予定となっている。

湯川町長

旧山北体育館代替施設については、当初、2階建ての計画であったが、延べ床面積が500㎡を超えると建設費用が1.5倍になることや、エレベーターの設置が必須となるため、平屋建てとした。当初から地域の方から要望のあった防災拠点や集会施設の機能などもしっかり考えて整備していきたい。

(2) 文化財の保護と継承について

湯川町長

次に、議題(2)文化財の保護と継承について、畠山課長から説明をお願いしたい。

畠山課長

～ 資料により説明 ～

湯川町長

この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。

佐藤委員

箒スギについてであるが、現状、箒スギの横にある杉についても大きく育てており、今後、町が文化財として保護していく上で、同じ敷地内にあるそうした樹木も併せて保護していく考えなのか。

畠山課長

基本的には国に指定された際の状態を保護していくこととなる。

石田教育長

町文化財保護委員会のご意見なども伺いながら、良い形で保護ができるよう検討していきたい。

湯川町長

来年度、お峰入りの記念公演の映像を作成する予定である。山北町には数多くの文化財があるので、一つ一つの文化財について、映像をはじめ多くの方々にアピールできるものの作成について考えていきたい。

石田教育長

共和地区からこれまでのお峰入りの映像を借りて、生涯学習センターで自由に鑑賞することができるようにしたところ、かなりの方がこの映像を見ていたそうである。やはり映像というものは、イメージがしやすく非常にインパクトがあり、興味や関心を引き付けるものであると思う。また、小学校5、6年生は、

副読本により山北の歴史・文化について学んでいるが、副読本の中に二次元コードを表示し、サイトにアクセスできるようにすることも検討したい。

湯川町長

今回のお峰入りのユネスコ無形文化遺産登録にあたり、マスコミからの取材などを通じて感じたことは、実際に演じられている方々のお峰入りに対する考え方や思い入れが様々であることだ。

石田教育長

文化財の保護と継承において課題となるのは、これを受け継ぎ、次代へ継承していく後継者の育成である。すべてを大人が行うのではなく、子どもたちにもできる部分があれば、継承していくことを検討すべきである。こうしたことは、基本的には保存会など地元が中心となり取り組むものであるが、町として支援すべき部分はしっかりと実施していきたい。

野地委員

「山北の教育・保育」に記載の文化財については、データベース化し、生涯学習センター図書室で、誰もが映像などを見られるような状態になっているのか。

畠山課長

現状では、整備されていない。

石田教育長

まずは、今残っている映像を集約・整理し、さらに今後、映像として残しておくべき文化財については、順次、動画を作成していくことが必要であると考ええる。

野地委員

町の定住人口の確保については、町外からの移住を促進するだけでなく、町に住んでいる人たちに山北町の良さを情報発信することも効果的であると思う。

湯川町長

過去に山北町の町史編纂を行ったが、文化財の映像の作成、整備についても長期的な視点で予算を確保しながら進めていきたいと考えている。

野地委員

また、映像の整備だけでなく、毎年、文化財の見学ツアーなどを行い、現地で文化財と直に触れ合うことが、大きな体験になると思う。そうした取り組みを少しずつ進めることが、少子化など町の抱える課題の解決や、町の活性化につながっていくと思う。

湯川町長

以前、時間的に30～40分のSUPのPR映像を作成したが、この長さで

は、中々最後まで見てもらうことができない。多くの方に見てもらうためには、YouTube のように比較的短めの動画の方が望ましいようなので、動画の作成については、専門家の意見なども伺いながら進めていきたい。また、文化財保護の一番の課題は、文化財を引き継ぐ後継者の問題である。人口減少により子ども数も減っている状況であるが、やはり、若者や子どもたちに積極的に参加してもらうことが重要と考えている。

そのほかにも、ご発言はありますか。なければ、議題（2）については以上とさせていただきます。本日の会議の議題はすべて終了となったため、進行を事務局にお返しする。

5 その他

事務局

事務局より事務連絡をさせていただきます。来年度の会議日程については、本年度と同様に1回目を11月、2回目を2月に開催する予定である。

6 閉会 参事兼企画総務課長

以上